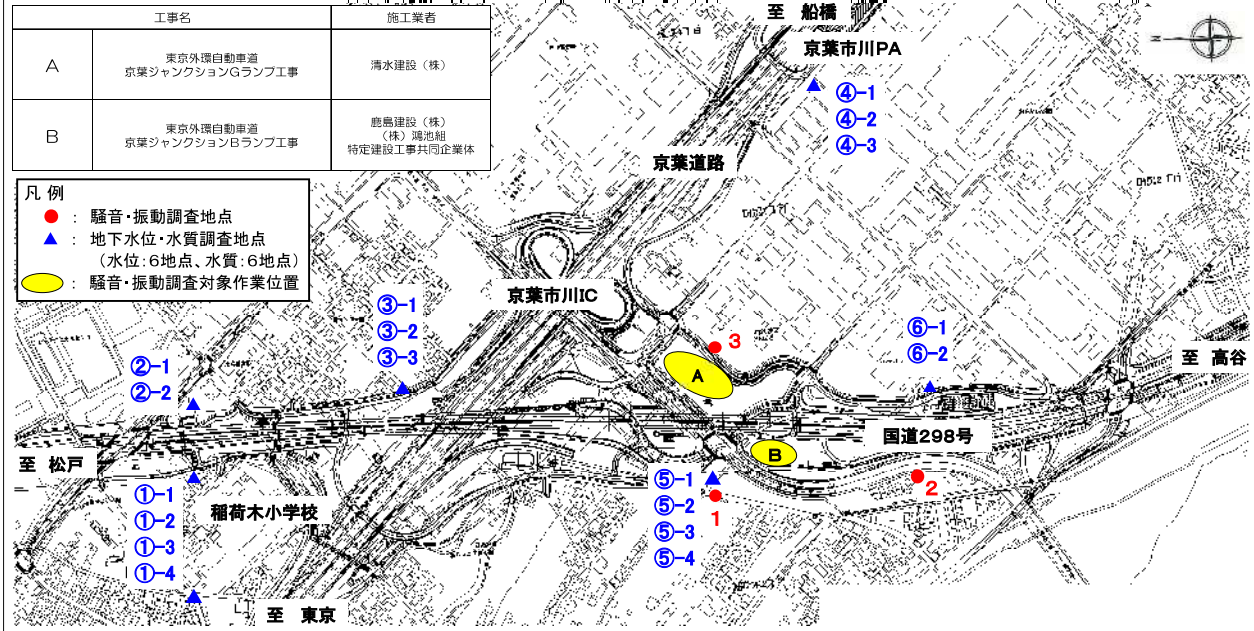


稲荷木・田尻・鬼高地区の7月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱  
 千葉工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	60	34	7月26日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	43	7月26日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	63	44	7月26日 昼間(8時~17時半)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル $L_{A5}$   
騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB（デシベル）という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル $L_{10}$   
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%の値を $L_{10}$ と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日：R4年7月27日、28日、29日)

地下水質調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.8	8.0	8.0	8.1	8.0	7.6	7.7	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.006	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
pH	7.7	8.1	7.9	7.1	7.5	7.9	8.0	7.6	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.008	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH（水素イオン濃度）  
地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム  
地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該観測において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水水位調査結果

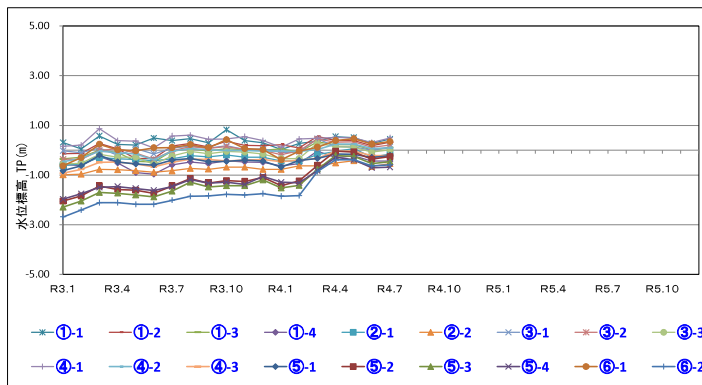
地下水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位：T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R4	5月	0.505	0.395	0.220	-0.230	0.069	-0.421	0.130	0.340	0.120
	6月	0.265	0.175	0.010	-0.430	-0.281	-0.661	0.000	0.120	-0.080
	7月	0.445	0.315	0.100	-0.440	-0.151	-0.541	0.130	0.210	0.010
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2		
R4	5月	0.495	0.240	-0.035	-0.170	-0.070	-0.250	-0.380	0.470	-0.385
	6月	0.305	0.070	-0.215	-0.290	-0.360	-0.540	-0.710	0.250	-0.635
	7月	0.495	0.100	-0.225	-0.210	-0.260	-0.460	-0.680	0.350	-0.595

解説

- T.P.m  
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



# 稲荷木・田尻・鬼高地区の8月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路株式会社の事業活動は地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社  
 千葉工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-3342

## 1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀池組 特定建設工事共同企業体

凡例

- : 騒音・振動調査地点
- ▲ : 地下水水位・水質調査地点  
(水位:6地点、水質:6地点)
- : 騒音・振動調査対象作業位置

## 2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	58	35	8月24日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	65	45	8月24日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	64	47	8月24日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

●騒音レベル $L_{A5}$

騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル $L_{10}$

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

## 3.地下水調査結果(採水日:R4年8月29日、30日、31日)

地下水調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
**○pHおよび六価クロムに異常はありません。**

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.4	7.8	8.0	8.0	8.1	8.1	7.4	7.5	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.7	8.0	8.0	7.1	7.5	7.9	8.1	7.6	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

## 3.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○工事による地下水水位への影響はありません。

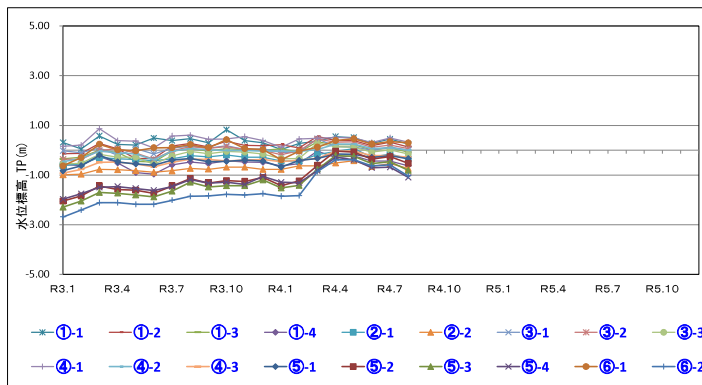
単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R4	6月	0.285	0.175	0.010	-0.430	-0.281	-0.661	0.000	0.120	-0.080
	7月	0.445	0.315	0.100	-0.440	-0.151	-0.541	0.130	0.210	-0.010
	8月	0.245	0.135	-0.060	-0.620	-0.351	-0.731	0.000	0.070	-0.150
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R4	6月	0.305	0.070	-0.215	-0.290	-0.360	-0.540	-0.710	0.250	-0.635
	7月	0.495	0.100	-0.225	-0.210	-0.260	-0.460	-0.680	0.350	-0.595
	8月	0.315	0.000	-0.275	-0.340	-0.530	-0.810	-1.100	0.300	-1.035

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

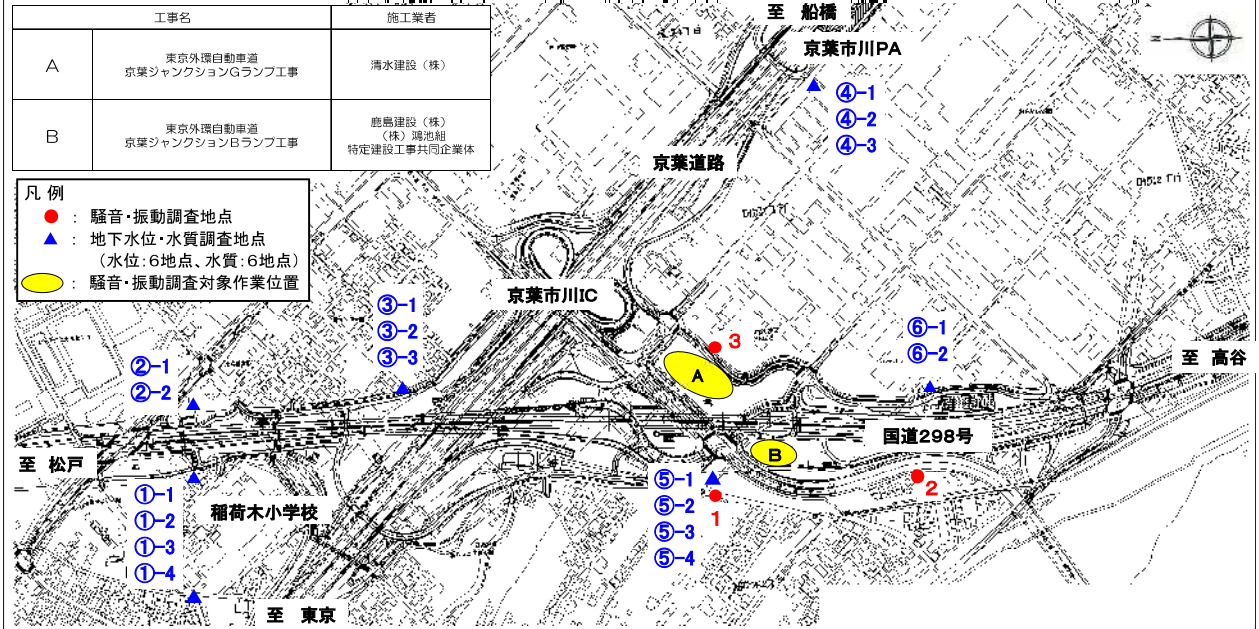


# 稲荷木・田尻・鬼高地区の9月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路㈱干業工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱  
 干業工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-3342

## 1.調査項目および調査地点



工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀池組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
  - ▲ : 地下水水位・水質調査地点  
(水位:6地点、水質:6地点)
  - : 騒音・振動調査対象作業位置

## 2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	35	9月16日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	9月16日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	58	43	9月16日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

### 解説

- 騒音レベル $L_{A5}$   
騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル $L_{10}$   
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

## 3.地下水質調査結果(採水日:R4年9月28日、29日、30日)

地下水質調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.8	8.0	7.9	8.0	8.0	7.5	7.5	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.013	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	7.9	6.7	7.4	7.8	8.0	7.5	7.5
六価クロム(mg/L)	0.013	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

### 解説

- pH(水素イオン濃度)  
地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム  
地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該観において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

## 3.地下水水位調査結果

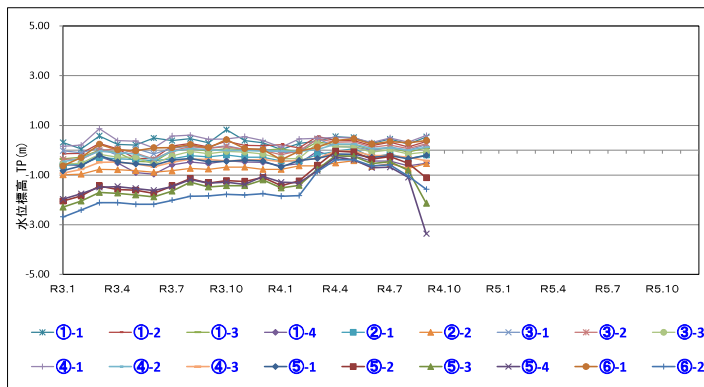
地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○地下水水位の低下が一部で確認されました。  
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R4	7月	0.445	0.315	0.100	-0.440	-0.151	-0.541	0.130	0.210	0.010
	8月	0.245	0.135	-0.080	-0.620	-0.351	-0.731	0.000	0.070	-0.150
	9月	0.535	0.345	0.100	-0.530	-0.191	-0.541	0.220	0.260	-0.070
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R4	7月	0.495	0.100	-0.225	-0.210	-0.260	-0.460	-0.680	0.350	-0.595
	8月	0.315	0.000	-0.275	-0.340	-0.530	-0.810	-1.100	0.300	-1.035
	9月	0.595	0.120	-0.425	-0.210	-1.110	-2.130	-3.360	0.390	-1.575

### 解説

- T.P.m  
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



# 稲荷木・田尻・鬼高地区の10月の調査結果のお知らせ

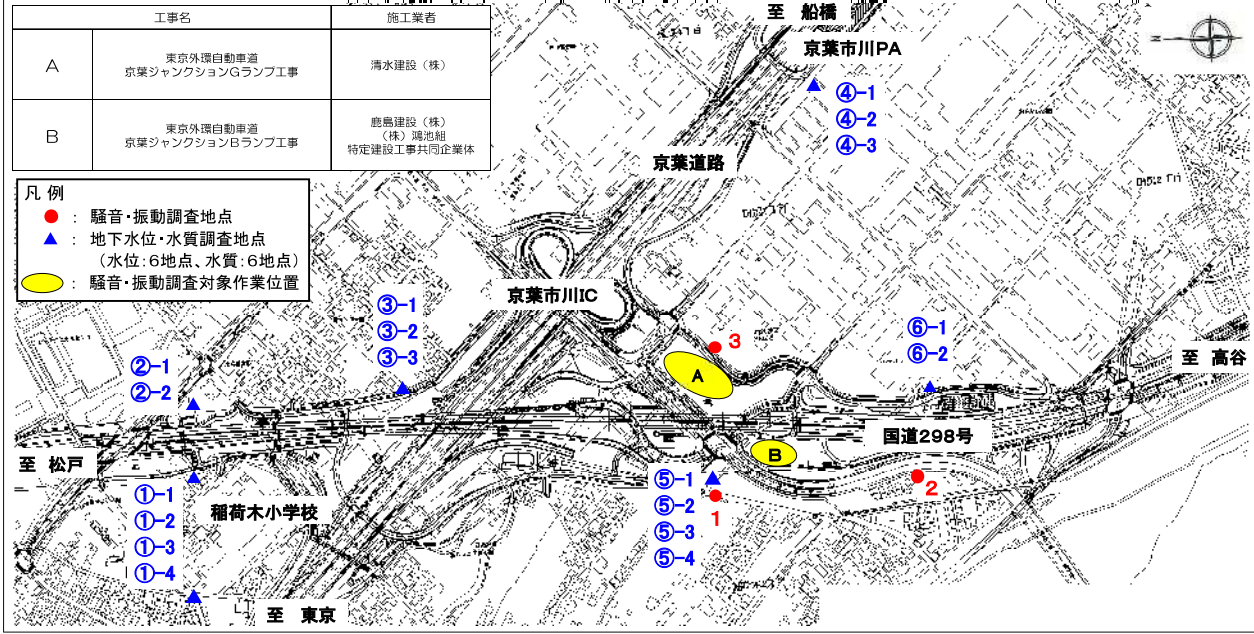
平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路株式会社の外環事業では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株  
 千葉工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-3342

## 1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀池組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
  - ▲ : 地下水水位・水質調査地点  
(水位:6地点、水質:6地点)
  - : 騒音・振動調査対象作業位置



## 2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。  
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	58	36	10月28日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	66	45	10月28日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	64	44	10月28日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	85	75	

解説

- 騒音レベル $L_{A5}$   
 騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル $L_{10}$   
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

## 3.地下水質調査結果(採水日:R4年10月26日、27日、28日)

地下水質調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.4	7.8	8.1	8.0	8.1	8.1	7.5	7.5	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.7	8.1	8.0	6.9	7.5	7.9	8.1	7.6	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)  
 地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム  
 地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

## 3.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○地下水水位の低下が一部で確認されました。  
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R4	8月	0.245	0.135	-0.080	-0.620	-0.351	-0.731	0.000	0.070	-0.150
	9月	0.535	0.345	0.100	-0.530	-0.191	-0.541	0.220	0.260	-0.070
	10月	0.265	0.085	-0.170	-0.710	-0.501	-0.831	0.060	0.000	-0.120
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R4	8月	0.315	0.000	-0.275	-0.340	-0.530	-0.810	-1.100	0.300	-1.035
	9月	0.595	0.120	-0.425	-0.210	-1.110	-2.130	-3.360	0.390	-1.575
	10月	0.385	-0.180	-0.775	-0.470	-1.950	-3.310	-4.860	0.220	-2.395

解説

- T.P.m  
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

